

DISTRICT 253 CLUB BULLETIN 創立 S34.6.9 承認 S34.6.27

鶴岡ロータリー

THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA



いろり

例会場 鶴岡市馬場町 物産館 3 階ホール 例会日 毎週火曜日 P・M 12:30 — 1:30 事務所 鶴岡市馬場町 商 工 会 議 所 内 電 話 0235 22 5 7 7 5

会長 鈴 木 弥 一 郎 幹 事 中 江 亮

Service. I believe in Rotary.

奉仕・ロータリーを私は信奉する。

第883号

1976 · 11 · 30 (火) (ゆき) No.18

─ 本日のプログラム ─

- 1. 点 鐘
- 2. ロータリーソング (手に手つないで)
- 3. ゲスト・ビジター紹介
- 4. 奥様誕生祝 鷲田玲子様
- 5. 会長報告
- 6. 幹事報告
- 7. 会員スピーチ

鶴岡の電話の今昔~角田博君

- 8. 委員会報告
 - ◎地区インターアクト協議会・ユネスコの日 報告~安藤定助君
 - ⑤新年家族親睦会案内~森田清治委員長
 - ◎財団寄付について(会員より御寄付を2,000円位お願いしたい)~

斎藤栄作委員長 山口 **第**之助委員長

- ◎出席奨励について(出席表一覧表参照) ~山口篤之助委員長当クラブの目標92%ですが現在は91.04%(4ヶ月平均)出来るだけ頑張って欲しい。
- ◎スマイル発表~丹下誠四郎委員
- ⊚出席報告
- 9. クラブ年次総会 (1976~77年度)

■ゲスト・ビジター紹介

斎藤福太郎君、菅沢久弥君一鶴岡西R·C

会長報告

- ① 新穂光一郎君亡父の香奠返しを丁戴する。
- ② 佐藤正郎君、上野三郎君、火災見舞に対する礼状を頂きました。
- ③ 酒田東クラブより礼状 (火災見舞) を頂きました。
- ④ G.S.E吉田団長より先般のG.S.E派遣に対しての礼状を頂きました。
- ⑤ 8月に来訪されましたガンダール・ピーケコール合唱団 (ノールウェイ) からの礼状が来ております。

友 へ !

私達皆、無事に日本でのすばらしい旅行から帰ってくることが出来、皆様におつたえします。

旅行が私達に与えてくれた想い出、友。又そちらでの経験は決して忘れる事が出来ませ ん。

友交的に私達をうけ入れて下さり心からの感謝の意を表し御家庭にたずねた時に、私達を待ち望んでいた事を知り、心の中に大きなよろこびを感じました。特に私自身も学んだことは言葉の上での問題にもかかわらず音楽を通じて友交を深め、又日本とノルウェー間の友情を結ぶことができたことです。

この手紙において皆様に、私達のした多くの失敗についておわびを、もうしあげます。 今回の旅行において日本のこと、又日本の習慣等について知ることができました。ですから次の時、私達が又日本へおじゃまする時には少しは良くなると信じています。

私達の帰国コンサートではハッピや着物で歌い、日本での出来事をつたえました。皆様が会場におればと思いました。

終りに、コーラスが夢に望んでいる第二次日本旅行(1979年)について書きます。コーラスのメンバーは日本でのカセット販売のお金を次回旅行のため、ためることにしました。皆様の中でその事のために御好意をお表しになりたいコント・ナンバー(下記)へお送り下さい。

No.302 1464537 Ganddal Pikekor

Taiyo Kobe Bank Sanuomiya Branch 住所 4-chome, Kano-cho Ikuta-Ku 650 Kobe.

皆様にかさねて心からの感謝の意を現します。日本でのすばらしい滞在をありがとうございました。

では又おめにかかるまで

アウドン・ヴァグレ ガンダール・ピーケコーラス指揮者

P·S、もし皆様の中で、私達の写真をとられた方、又は私達についての御感想があればお送り下さい、感謝します。コーラスへお送り下さい。日本語でもけっこうです。

住所: GANPDAL PIKEKOR 4310 GANDDAL NORWAY ⑥ 11月25日元当ロータリークラブ会員でありました松文産業株式会社会長の労網末松氏 の動五等双光旭日章の受章及び山形県産業賞受賞の記念祝賀会が鶴岡産業会館にて鶴岡 市長、鶴岡商工会議所会頭等の発起にて盛大に挙行され、クラブを代表して私が出席致 しました。多年に百る御功績は各界に百っての立派な奉仕の精神を貫かれた事に感銘致 しました。お目出度う御座いました。

幹事報告

@例会変更案内

寒河江R·C~12月4日の例会時間 P·M5:30 場所~寒河江文化センター 東京R·C12月29日の例会を12月27日 場所~帝国ホテル別館 スカイルーム

(0) 会報到着案内

八戸R·C、八戸東R·C、村上R·C、能代R·C、台中港区R·C

- ⑥12月5日地区情報研究会義務出席者は打合せの為め例会後お残り願います。
- ②会費納入 未納の方は出来るだけ早くお願い致します。

■会員スピーチ

<鶴岡の電話事情> 角田 博君

1. 鶴岡の電話

鶴岡の電話は明治41年12月21日、交換手6名、加入者126名で開始された。当時の町長 林茂政氏は笹原真治氏、風間幸右工門氏、平田吉郎氏、斎藤九兵工氏を電話創設委員に委 嘱し、逓信大臣に請願し実現した。当時は電話架設に多額の寄付金を要したものといわれ

現在の電話事情は鶴岡市の人口9万8千人、世帯数2万7千で加入電話は2万7千であ り、人口100人当り27.6と東北では有数の普及都市となっている。

今や電話は日常生活に寸時も切りはなせない生活必需品となっており、今、市内の電話 がストップしたら、すべての活動はストップされると云われております。

また、公社の通信技術は今や世界のトップにあり、すでにアメリカの技術をも抜いてお り、この技術革新により、世界一低料金の7円で23年も維持できました。(アメリカ23

住宅用電話の普及に伴い遂に赤字に転落、第二の国鉄になるのではないかといわれてい たが先般、料金改訂が国会で成行し、このたび料金を改訂させて頂きました。皆様の深い 御理解と御支援ありがとうございました。

2. すかしの電話

ダイヤル化 (昭和39.11) までは1番が殿様、2番が風間家でした。しかし創業時には 酒井家にはまだ開通されていませんでした。創業8年後に1番酒井家、2番風間家、67番 六十七銀行となりました。

3. ダイヤル化当時の"22"の皆さんも、いよいよ番号を変更せずに、便利な

プッシュホン

プッシュ式ビジネスホン

プッシュ式ホームテレホンにできるようになりました。

今年度は200の枠しかなく、すでに残りは100定っておりますのでプッシュホンになさり たい方はぜひお早目に私まで御申込み頂ければ幸いと存じます。詳細は配布致しました資 料を御参照下さい。

基委員会報告

<第353地区インターアクト懇談、協議会報告> インターアクト委員会

11月20日(土) $PM6:00 \sim 21日(日)$ AM1:00 米沢市小野川温泉宝寿園に於て地区 $I \cdot C$ 委員、 $I \cdot C$ 顧問教師、スポンサークラブ $I \cdot C$ 委員の懇談、協議会が開催され、安藤委員が出席しましたので概況を報告します。

1. 出 席 者

I · C 棱	顧問教師 スポン	/サークラブ C 委 員	備考
聖光学院 I·C	渡辺良平	(飯坂R·C)
福島工高I·C	高村劼、板浪良一		福島北R·C)
安積商高I·C	矢 内 健 雄 稲	村 茂 (郡山西R·C)
磐城農高 I·C	榊 原 久 雄	(いわき勿来R·C)
喜多方工高 I·C	渡辺貞夫西	村 三 郎 ((喜多方R·C)
岩瀬農高 I·C	桜 堂 昌 幸 篠	沢 善一郎 (須賀川R·C)
緑ケ丘高校I・C	木村篤士大	山 九三郎 ((福島R·C)
鶴岡西高I·C	本間玄良松	田 善三郎 ((鶴岡西R·C)
鶴岡高専I·C	篠崎孝一安	藤定助((鶴岡R·C)
鶴岡工高I·C	安	藤定助((鶴岡R·C)
米沢女子高校	九 里 校 長遠藤先生他 1 名	7	私立校創立予定
その他	米沢R.C会長、幹事、青	于少年委員、米洲	西R·C会長
353地区委員	三井委員長、佐原委員、	山ノ井委員	

2. 前夜懇談会食

三井地区委員長より本会の趣旨説明あり、会場設営に当られた九里地区副幹事に謝辞あり、次いで各自自己紹介をかね各I・Cの概況、及びスポンサークラブのI・C活動の概況の関陳あり、鯉のウマ煮、米沢牛鍋、山菜料理に舌鼓を打ち乍ら地区大会の想い出、各I・C、R・Cの問題点等胸襟を開いて語り合う中に親睦を深め有意義に終る。

3. 協議会

第2日 $AM8:30\sim11:00$ 間 三井地区委員長の適切な指導と司会により極めて熱心に意見活動が行われ(之には前夜懇談会食が大いに力となった)且つ具体的な貴重な $I\cdot C$ 活動の成果も多く発表された。

- (1) 三井地区委員長に先ず次のような指導をなされた。
 - ① I.Cの特殊性と現況について

誕生1962年11月 洗練された創設経緯、単年度事業でなく継続事業、世界のI.C 71ヶ国 3,530クラブ 72,000名、日本のI.C288クラブ 8,640名R.Cの活動の中で最も特色ある重要なプログラムである。地域社会に於ける青少年指導育成団体としても特色あるものである。(別紙青少年指導者の種類……参照)

I・Cはその誕生の時とは稍々異った意味を加えて現代社会に評価され、求められている。

岩手県江刺高校 I.Cの例 (スポンサー岩谷堂R.C)

3年前創立、会員80名、尚希望者が多い、生徒は $I \cdot C$ を求めている、スポンサー $R \cdot C$ の熱心な努力による 学校・生徒の $I \cdot C$ の理解、 $I \cdot C$ 例会にスポンサー $R \cdot C$ 会員の熱心な出席と助言。

北海道凾舘ラサール高校 I.Cの例

昭和41年11月創立、会員13名、少数精鋭、全校生徒より厳選の上優秀生徒を入会させる。

② 国際理解について

R.Iのマチッド地区及びクラブのI.Cとの文通、交流(ワールド・インターアク

ト、デレクトリー参昭)

R·I中央事務局青少年係宛に申込があった文通希望の海外 I·C (資料配布) 373地区特にサンバナデーノ市 I・C (海外派遣地) との交流、ロータリー財団教育 補助金プログラム、奨学生について

③ 社会奉仕について

奉仕と云うことは知ってはいても、実践しなければ役にたたない。小さな奉仕活動 でも、生活体験として実践するところに価値が生れ、その人に自信を与え、成長させ

④ I.Cの運営と育成について

(A) R.Cとの関係

(F) I · C 指導者講習会

(B) 学校との関係

(G) I · C 地区代表設定の要否

(D) R · I との関係

(C) 地域社会との関係 (H) I.C名簿作成(全会員関係者) 1部60円位、330部印刷 (I) 新設予定 I.C (山形、米沢、会津若松、酒田)

(E) I.C地区大会 (J) 研友会(第1回、第2回海外派遣者)及びOB会の動き

(2) 一般協議

- ① 顧問教師、R.C、I.C委員共同一人を専門化せず互換性をもたせ理解の輪を拡げ ると共に指導力を強化
- ② R.C、I.C委員は年度顧問委員会編成の際、優先的に5名を選出し且つ1年委員 2年委員等再任制をとる。
- ③ 顧問教師の I.C諸行事に於ける出張旅費の考慮
- ④ 資金援助は I. C宛でなくその意を含めて生徒会宛の方が適当
- ⑤ I.C活動を活発にして行動によって教職員、生徒の理解を深めることが肝要
- ⑥ 総理府の青少年育成国民会議出版パンフレットの「青少年団体グループ」のリスト に乗せるよう努力する
- ⑦ 各県知事、教育委員会に県の指定する青少年団体として認めさせるよう努力する
- ⑧ 定款、細則、R.I 理事会のI.Cに関する方針声明(之がI.C運営指導の2本柱) について地区は遂条仔細に検討し拠るべきところを各 I.C 及びスポンサークラブに 明示する要あり
- ⑨ 指導者講習会は各校10月~11月には次年度役員が改選決定するのでその後の早い時 期に2~4ブロックに分け、地区委員出のもとに各I·C2~3名、顧問教師、R·C 委員等出席のもとに開催されたい。その細部計画は分区代理が適当
- ⑩ 鶴岡R.Cより別紙の課題提起あり

間もなく米沢女子高、山形、会津若松、酒田等新しいクラブが出来る予定。 I・C は地区内 に合せて15になります。地域社会、学校、県教委が注目をもって見られている。県教委、文部 省にボランテァグループとして認めてもらうという気運まで盛り上がりました。そうなればな る程学校、クラブ顧問教師、委員というものは断絶があってはならないと大きな責任を感じま した。

< 「UNESCO」 (ユネスコ) の日> 青少年委員会

表る11月23日 (勤労感謝の日) ユネスコ創立27周年の記念日11月24日を1日繰り上げてこの 佳日の休日に鶴岡市中央公民館に於て午前10時より「ユネスコの日」が催され、青少年委員も 理解と激励のため参加しましたが、男女約40名の子供達が阿部襄先生を中心に6~7名のリー ダー(中にローターアクト O B 大中君の姿もあり) お世話で、いただいたお菓子袋に手をつっ こみ、口を動かし乍ら次のようなプログラムを喜々として楽しんでおりました。

1. 受付

大きな紙に次々と掌に墨を塗り、手型を捺して記名し開会前に会場に之をはられた。

2. 阿部襄先生のお話 ユネスコの創立、鶴岡ユネスコ小供学校の創立(42.11.24)「UNESCO」即ち「国 際教育科学文化団体」の意義と目的等子供に判り易くお話された。

3. 人形劇「消えない灯」

阿部先生自ら人形を手にし、インドの物語のお釋迦様の教訓等語り乍ら、子供達も参加 し楽しみの中に教訓に感じ入った様子。

4. 映 面前

「ユネスコ」「かぐや姫」

5. 若松多八郎先生のお話

「庄内の木のはなし」と題し大変興味あるお話を、長い経験の教職を生かされて子供の 興味を引き乍ら話された。

終始阿部先牛の温情溢るム御熱心なお世話、御指導には頭の下がる思いで感銘の外なく、又 このような地味な目立たない子供のための奉仕に積極的に参加する青年、女子の活動には深く 胸を打たれるものがありました。今後当クラブも一層の理解と協力・援助に努めなければなら ないことを痛感しました。

<会員、家族、新年鱈汁大集会について>

親睦活動委員会

当クラブ親睦活動委員会新春計画の一つであります新年鱈汁大集会を下記の通り行いますの で御案内申し上げます。尚、当日の例会は時間変更となります。

月 日 昭和52年1月25日(火) 時間

昭和52年1月25日(八) 午後5時~5時30分例会として引続き大集会を行います。

当日オークションを行いますの 会員は必ず1点以上の品物を1月18日まで 事務局まで提出下さい。

その他 何が飛び出すかわかりません。

楽しい愉快な集会にするべく現在準備中です。

細部については後日発表いたします。御期待下さい。

実行委員長 上野三郎君

員森田清治君、佐藤正郎君、飯白祐佶君、富樫良吉君、丹下誠四郎君、 内山喜一君、三井賢二君、鷲田幸雄君、中江亮君

<スマイル> 森田清治君

鶴岡商工会議所3号議員に選任されました。

<出席報告>

本出 日 の席	会員数出席数出席率	56名 席	阿部(公)君、五十嵐(三)君、石倉君、高橋(耕)君、板垣 (広)君、嶺岸君、三井(健)君、中野(清)君、佐藤(友)君、 佐藤(正)君、新穂君、菅君、高橋(良)君、清水君、藪田君 吉野君
前出 回 の席	前回出席率 修正出席数 確定出席率	65名 1 ツ	石倉君一酒田東R·C 阿部(公)君、飯白君、石黒君、玉城君、黒谷君、板垣(広) 君、角田君、鷲田君、佐藤(忠)君、新穂君、横山君、吉野 君、諸橋君一鶴岡西R·C

<会報委員会よりお願い>

- 毎回会員各位にお願いしているように、スピーチ等の場合、原稿又は要旨(箇条書) きでも可)を提出して頂くと、省力化が計れますので、御協力下さい。
- ・各委員会の委員長の皆さん!! 委員会報告用紙がありますので、御利用下さい。
- 原稿、要旨、報告事項はスピーチ等終了後、直ちに会報委員にお渡し下さい。
- 写真は印刷の関係上なるべく白黒でお願いします。